

名寄市へ要望書提出

人手不足解消が緊急課題

商工振興のため官民連携の強化を求める

去る10月13日、正副会頭、専務理事の三役で市役所名寄庁舎を訪れ、「市内各企業における人材確保に関する要望書」「平成30年度行政施策に関する要望書」を加藤剛士市長へ提出しました。

●市内各企業における

人材確保に関する要望書

会議所が市内の中小企業230社（回答数116社）を対象に実施したアンケート調査によると、人手不足を実感している企業は約7割に上り、特に介護事業や建設業の人材不足は深刻である実態が明らかとなりました。

介護事業に関しては福祉サービスを補完する施設の設置が進んでいる反面、従事する人材の不足により施設利用者の受け入れを充足できない状況にあり、建設業に至っては名寄市の人材育成対策である「名寄市住宅改修等推進事業」が取り組まれているが、直近の有効求人倍率は高く、人材確保が進まない



要望についての話し合い

中で対応が求められています。藤田会頭は、「今年度より事業承継支援室を設置し、廃業に歯止めをかけ、将来の商工業者の環境を守ることに取り組んでいるが、喫緊の問題として人材確保に苦慮し、現状のままでは業務を縮小せざるを得ないという事業所もあるため、官民が連携し対策の取りまとめが必要」と訴え、更なる対応の検討推進を要望しました。

●平成30年度 行政施策に関する要望書

【商工業振興に係る施設の推進】

地域の経済や雇用はもとより、地域社会の持続性の実現に向けた理念として、商工業診断調査事業を実施し、「商工業振興基本計画」の策定を要望しました。

具体的な中身として事業継承に係る事業を官民連携で行うこと、「名寄市住宅改修等推進事業」を長期的視野として捉えた複数年にわたる事業化と適正な運営、経営指導の一体化を図る体制づくり、新規卒卒者等の職場定着事業の実施を求めました。

また、地域経済の底上げに係る施策として商工業振興補助金枠の拡充と経営・記帳指導等に対する新たな補助基準の策定、公契約における地域内循環経済対策として地元事業者育成と雇用促進の環境整備、国や道の事業への地元企業の参加機会の拡大と発注事業量の確保も求めました。

【持続可能なまちづくりの推進】

人口減少や少子高齢化社会を見据え、将来に渡る持続可能なまちづくりを進めるため、コンパクトシティの推進の礎となる

都市計画マスタープランの見直し並びに立地適正化計画と、交通網計画の策定を求めました。

この他、陸上自衛隊名寄駐屯地の体制増幅と退職者雇用・定住対策の推進、若者の地元定着・結婚・出産・子育てまでのパッケージ施策の立案、国際・国内交流と観光振興の推進、地域における公共交通体系の確立、高規格道路幹線網を活用した経済活性化の取り組みを要望しました。

加藤市長は「人材不足の現状に関しては深刻に受け止めている。行政施策に対する要望に対しても一緒になって議論し、具体的な解決のために政策を立案しなければならぬと考える」と話しました。

なお、要望に対しては後日書面にて回答をいただけることになっています。



加藤市長に要望書を提出する藤田会頭

YEG 青年部創立10周年事業

物流の現状や課題が明らかに

道北経済人フォーラム開催

去る、10月20日名寄商工会議所、同会議所青年部（川瀬邦裕会長）主催の「道北経済人フォーラム」が市民文化センターで開かれ、全道各地の自治体や商工会議所・商工会関係者、物流関係者ら125人にご参加いただきました。

同フォーラムは、青年部創立10周年記念事業の一環として企画し、道北地域の経済動向や物流・運送業界の現状を把握するとともに、地域経済発展のための物流の在り方と今後の展望について考えました。運送業者の人員不足や車両不足など、流通・物流業界を取り巻く環境の厳しさが浮き彫りとなっています。

●第1部…有識者を招聘し講演

北海道開発局の眞田仁港湾空港部長、北海商科大学の相浦宣徳教授にそれぞれ講演をいただき、物流環境を整備するためにも集荷の核となる拠点が必要であると話され、北海道を取り巻く物流の環境と本州との比較による問題点を提起していただきました。



パネリストによる討論の様子

●第2部…パネルディスカッション

相浦教授をコーディネータに、加藤剛士市長、武田浩喜下川町副町長、東野秀樹JA道北なよろ農協組合長、(株)西條道塚進取締役営業本部商品部長兼専門店事業部長、旭川地区トラック協会村上哲也副会長、北海道物流開発(株)齊藤博之会長、北洋銀行地域産業支援部塚見孝成常務執行役員審議役の7人のパネリストにより「道北地域物流の現状、課題点の解決策の検討」をテーマに意見交換をし、物流の拠点化、道の駅の活用、共同輸送の優位性などが討論されました。

パネリストからは配達車両の効率性とコストの課題や、ドライバーの人手不足や高齢化などの問題点が提起され、今後の展望として「高規格道路未整備区間が整備されると、物流拠点としての価値がより高まる」「距離的に道北物流の中継地点として良い」「民間、行政が連携し、物流拠点としての名寄を目指したい」など、名寄が物流拠点としての役割を担うことに期待を込める意見が多く集まりました。

加藤市長は「北海道の現状として、札幌に人材が集約されつつある。このまま一極集中が進めば、道北、道東地域は壊死してしまう。政治的、行政的なくさびを打つ必要がある」と話しました。

●第3部…質疑応答

参加者より共同輸送の事例やJR利用による物流の可能性などについて質問があり、物流への関心の高さが窺えました。

今後も物流システム構築のために道北物流形態の把握と荷物量の調査をすることが必要であり、今回を境に継続して検討していく体制が必要であるとの認識に至りました。

新入会・人事異動

■新入会員（8月1日～10月31日分）

合資会社ドミール様（建設業）
白川不動産様（不動産業）
豊田重機様（重機業）
串あげ酒場福あげ様（飲食業）
(株)ライフケア様（サービス業）
ご入会ありがとうございます。

■参与の異動

名寄税務署長
(旧) 宮野 修二 様
(新) 千葉 晴紀 様
(平成29年7月10日付)

新入職員の紹介

相談係
渡邊 詩織（平成29年9月1日）

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業所で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **810円**

効力発生日 平成29年10月1日

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

買物動向調査

購買形態の推移が明らかに

中心部での買物が減少し、
市外へ流出

買物動向調査は、消費者が日頃どこで買物をするのかを調査し、地域の住み良い街づくりや商業振興に役立てるために実施しており、前回の調査(平成26年度)より3年が経過し街の状況も変化していることから、今回で6回目となる調査を実施致しました。

調査内容

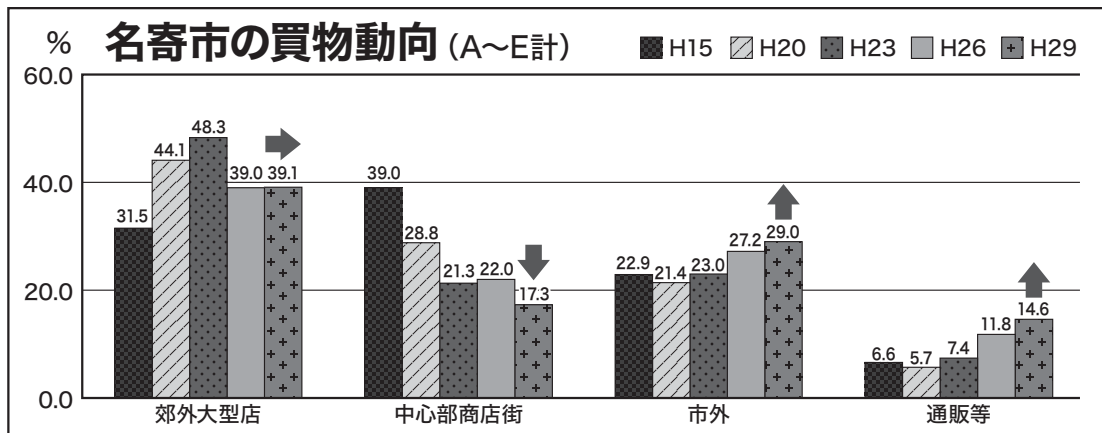
- A 群(食料品、生活雑貨)
- B 群(衣類関係、寝具、靴、カバン)
- C 群(家具、家電)
- D 群(時計、メガネ、医薬、化粧品、書籍、玩具、スポーツ用品、園芸)
- E 群(家族等で買物・飲食を楽しむ場合、流行を知る場合)

購入場所・形態

- 市内中心部商店街(近隣商店・コンビニを含む)
- 郊外大型店(チェーン店を含む)
- 市外(札幌・旭川・その他市町村)
- 通販(テレビ、インターネット、雑誌、生協など)

調査対象

10代の大学生から60代以上まで
まず下記グラフの郊外大型店を見ると、平成20年の郊外大型店出店



降、郊外大型店での買物が増加したものの、前回調査から横ばいとなつていますが、他の調査項目と比べると高い割合で利用されています。

次に、中心部商店街を見ると、郊外大型店出店前(平成15年)と出店後(平成20年)では約10パーセント減少しており、それ以降も減少傾向にあり、厳しい状況が続いています。

市外への買物については、増加傾向にあり、特に旭川市への買物が多いことが分かりましたが、大学生においては札幌市での買物が多くなっていました。

最後に通販等ですが、携帯電話やインターネット等普及により、自宅に居ながら手軽に注文できるという事もあり大幅に上昇しています。また、中高年では生協サービスを利用して見れば中心商店街を利用する割合と大差がなくなってきました。

群ごとの集計ではE群(飲食や流行を知る場合)だけは名寄市から離れて旭川市や札幌市といった都市への買物が多く、それ以外A～D群(食料品、衣類関係、家具家電、生活雑貨等)では郊外大型店で多く買物がされてきました。

今回の調査で、中心部商店街の利用は徐々に減少傾向にある一方、市外や通販での買物が、増加してきている結果となりましたが、中高年方の買物に関しては市内中心部商店街の利用が高いことが分かりました。

名寄商工会議所では、この他にも様々な調査事業を行っております。各種調査報告は次頁に続きます。

マル経資金

がんばる企業、
応援します!



マル経資金制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者をバックアップするため、本所が日本政策金融公庫に推し、**無担保・無保証人・低利**で融資する制度です。

融資額

2,000万円

利率

1.11%
(H29.11.10現在)

返済期間

運転: 7年以内

設備: 10年以内

名寄市の利子補給制度により、最初の2年間は1%の利子の補給があります!

各種調査結果報告

名寄市は若干の上昇傾向

景気景況調査

平成29年7～9月期の業況、10～12月期の見通し
調査内容：製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金操りの6項目について調査を実施。

調査対象：当所会員企業 57社

今季の業況は、全業種平均で▲4.7ポイントと前回の調査に比べ、1.4ポイント上昇し、若干の回復傾向がみられる。見通しでは1.6ポイントと6.3ポイント拡大となりました。

北海道(道商連調査)の景気と比較すると、名寄市は上昇傾向にあり、見通しでは3.9ポイント上回る状況となりました。

名寄市、北海道、全国の見通しとも、当期より改善する見通しとなっています。

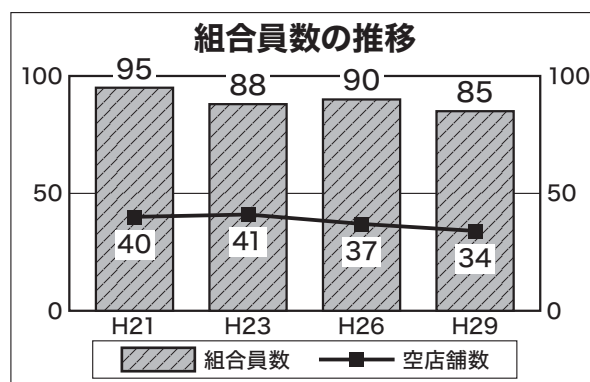
業種別では、製造・建設業は改善されており、卸小売・サービス業は悪化しております。

景気景況調査は年4回行っており、市内全体の経済状況や業種別の動向などの把握にお役立てください。

高齢が原因で廃業が相次ぐ

空地・空店舗調査

名寄商工会議所では、毎年市内商店街を含む中心部の空地・空店舗の調査を行っております。下記のグラフは数年ごとに比較した商店街組合員数と空店舗数の推移で、組合員の数は年々減少傾向にあります。高齢による廃業が多く事業承継がうまくなされていないことが判明しております。一方で空店舗の数は少しずつ減少しており、廃業後店舗を取り壊し駐車場等に行っているためと考えられます。



より詳しい調査結果は、名寄商工会議所のホームページにてご確認ください。

名寄商工会議所

検索

郊外地へは8号線の利用が増加

交通量調査

【実施日】9月22日(平日)・24日(休日)
 (市内郊外3カ所で実施)

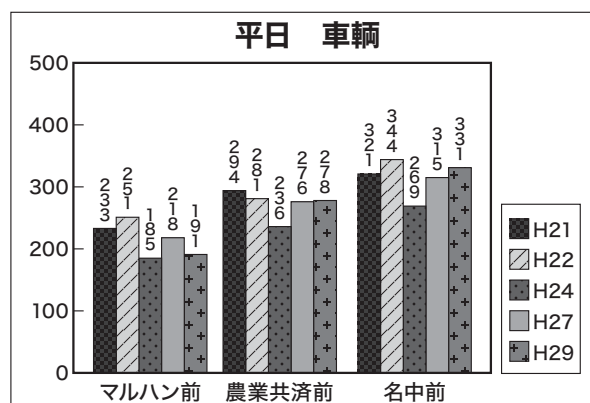
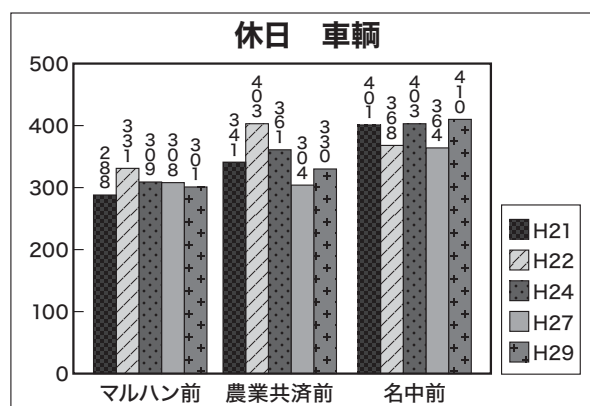
【調査時間】午後1時から2時までの1時間

平成21年からの平日の交通量・休日の交通量の比較。

まず、休日の交通量を地点別に比較すると、全体的に交通量が多いことが分かります。特に名寄中学校前(名中前)『市内から郊外方面への車輛』が多いことが分かります。このことから8号道路が主要道路として利用され、郊外や市外へ流出していると考えられます。

次に、平日の車輛を地点別に見ると、マルハン前『国道40号線から入ってくる車輛』が他の調査地点より交通量は少なくなっている。この結果により、郊外地点では、国道40号線の利用より8号道路を幹線道路として利用している。

この調査は毎年、郊外と市内中心部を交互に調査をしており、昨年の中心部の交通量の結果としては、金融機関が営業している平日の交通量が多いもの、郊外と比較すると2倍以上の開きが見られました。



商工会議所の保険制度をご存知ですか？

日常に潜む「もしも」に備えた充実のラインナップ

商工会議所の保険制度は、商工会議所会員の経営リスクの担保（リスクの移転）および、同会員の従業員などの福利厚生の実施を目的としており、全国商工会議所のスケールメリットにより、低廉な保険料でご加入いただける団体保険制度です。
※商工会議所会員のみご加入いただけます。
※割引率は引受保険会社によって異なります。



ビジネス総合保険制度

事業活動における賠償リスク、事業休業リスク、財物損壊リスクを総合的に補償。補償のモレ・ダブリを解消し一本化して加入可能。



中小企業PL保険制度

国内製造物が原因の人身事故・物損事故のリスクや製品のリコールに備える補償。



情報漏えい賠償責任保険制度

個人・法人の情報漏えいで経済的損害に備える補償。



業務災害補償プラン

従業員の労災事故と民事上の損害賠償請求などの企業リスクに備える補償。



休業補償プラン

病気やケガによる休業時に生活水準を落とさずに療養の専念に備える補償。



経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済）

取引先の予期せぬ倒産による連鎖倒産から中小企業を守る制度です。売掛金債権等が改修困難となったときに共済金の貸し付けが受けられます。



特定退職金共済制度

従業員に将来支払う退職金を毎月定額の掛金を支払い、計画的に積み立てるため、中小企業でも安定した退職金制度。

その他、海外との取引に備える補償制度もございます。詳細は当商工会議所のホームページをご覧ください。くか、直接お問い合わせください。

お知らせ

■第81回リテールマーケティング（販売士検定）
試験日…2月21日（水）
受付締切…1月26日（金）
試験会場…名寄商工会議所
検定料金…3級 4,120円

■一日金融相談会
相談日…12月12日（火）

予約期限…相談日の3日前まで
相談会場…名寄商工会議所
2期分の決算報告書をお持ちください。

■出張年金相談
相談日…12月12日（火）
1月16日（火）
2月20日（火）

相談時間…11時～16時
相談会場…よろーな2F
事前予約が必要となります。
旭川年金事務所
☎0166-725004

SAPPORO MOTOR SHOW 2018
札幌モーターショー2018
1/19(土) 20(日) 21(月)
札幌モーターショー2018/札幌ドーム
入場料
[前売] 一般 990円 / 中高生 450円
[当日] 一般 1,300円 / 中高生 700円
※詳細は、下記ホームページへ
<http://sapporomotorshow.jp>
札幌モーターショー 検索
当所でも前売券の販売を行っております！

〈会員の皆様へ・ご協力のお願い〉 新会員をご紹介します！

当会議所では、各種制度融資の相談・斡旋、税務や記帳など経営指導など巡回や窓口での相談を受けられるほか、異業種間交流やセミナーへの参加、各分野の専門家無料相談（よろず支援・ミラサポなどの専門家派遣）等も受けられます。

入会資格・・・名寄市内で営業されている商工業者（法人・個人・営業所等）、共同組合などの団体は規模、業種を問わずに会員になれます。

会員の皆様のお知り合いで入会をご検討されている事業所様がございましたら、是非ともご紹介ください！担当職員が訪問し、丁寧にご説明させていただきます。





最新の医療事情に対応した一生の医療保険

アクサの
一生保障の
医療保険

スマート・ケア

医療治療保険(無解約払いもどし金型)

特長1 短期入院にも手厚い保障

日帰り入院から一時金を受け取れます。

特長2 通院保障も充実

入院前後、手術後の通院を

1回30日(通算1,095日)まで保障

※Ⅲ型には通院の保障はありません。

特長3 約1,000種類の幅広い手術に対応

公的医療保険制度の対象となっている

約1,000種類の手術を保障

スマートに人生を、
進み続けるために

●お引受けには所定の条件があります。
本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

AXA-A1-1708-1318/9F7

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 旭川支社 旭川営業所
〒070-0043 北海道旭川市常盤通1-2500 道北経済センタービル1F TEL 0166-23-7986